

社会

全学年

次のA～Fの課題コースの中から選択してください。

地理的分野

課題コースA <身近な地域に関する研究>

いつも何気なく見ていた身近な地域の景観について研究してみましょう。この地域の景観をつくる自然的な条件や人間の活動の歴史の中から、関心のあるテーマをみつけて考察していきましょう。本で調べたり、地図で考察したあとは、自分の足を使ってフィールドワーク（野外調査）に出かけましょう。

調査対象地域は、何度も自分で足を運べる身近な地域をおすすめします。

例 示 （これまでの優秀作品のテーマ）

- ◎ 錦市場 MAP
- ◎ 京都中央卸売市場第一市場―「京都駅西部エリア」の活性化に貢献する
- ◎ 京都・西陣における伝統産業の現状
- ◎ 西宮市酒造業巡り
- ◎ ご当地キティと特産品
- ◎ 三条商店街の移り変わり
- ◎ 宇治市の都市化と茶畑の減少
- ◎ 京都の伝統工芸の魅力の再発見

課題コースB <世界の地域に関する研究>

①世界の様々な地域の日常の暮らし（文化）や、②世界の様々な地域が直面している問題について、どのような取り組みが行われているかレポートにしてみましょう。

調査対象は、自分が足を運んで観察できる地域や、世界の地域での活動の様子をインタビューできるNGOや、実物に触れることができる国立民族学博物館（大阪府吹田市）などとし、その中から研究テーマをみつけてください。

例 示

- ◎ 熱帯雨林の破壊とプランテーション
- ◎ ボルネオ島―豊かな熱帯林に生きる動植物と人々、その歴史～
- ◎ 大リーグのチームがある都市調べ
- ◎ フィンランドの町並みと日本の町並み

歴史的分野

課題コースC <日本史・世界史に関する研究>

小学校時代や、1・2年生の授業を通して得た学習方法・知識を生かして、みなさんが興味のある分野の自主的な研究にとりくみ、歴史学習を発展的に深めてほしいと思います。テーマはできるだけ身近で具体的なものを取り上げ、史跡や遺跡・博物館や資料館など実際に足を運んで調べてきてください。その際の写真や資料なども添付するとより充実したものとなるでしょう。

例 示

- ◎ 食事の歴史…実際に当時の食べ物を再現し、時代の流れを追う。
- ◎ 平安時代の衣食住について……現在の生活スタイルと比較検討し、特色をとらえる。
- ◎ 新選組について……京都にあるゆかりの史跡をめぐって彼らの活躍の様子を知る。
- ◎ 古代エジプトのピラミッドについて……古代エジプトの死生観を考える。
- ◎ 西国街道・歴史散歩……西国街道の道のりを実際に歩き、周辺の遺跡・史跡を調べる。
- ◎ 山城と平城の比較研究……実際に城を訪ね、それぞれの城のつくりや地の利を比較し、山城と平城の特色をとらえる。

課題コースD <戦争博物館見学レポート（戦争展・立命館国際平和ミュージアム見学）>

歴史的分野でアジア・太平洋戦争についてを詳しくまだ習っていない1・2年生にとっても、また、すでに習ったであろう3年生にとっても、「見て、感じて、考える」ことが多いはずです。「平和のための京都の戦争展」は、市民団体によって毎年夏に企画される「戦争の真実を伝え、平和の尊さを知る」ためのイベントです。ぜひ足を運んで自分なりに「平和」について考えてほしいと思います。

例 示

- ◎ 兵隊の服装について……どれほど重い服を着せられ、何キロも軍事行動をさせられていたかなど、軍事生活の一端を知る。
- ◎ 「赤紙」とは何か……ある日、突然軍隊に入り、戦争へ駆り出されている人々を具体的にとらえる。
- ◎ 戦時下の国民の生活……「ほしがりません 勝つまでは」と言われた貧しい国民の生活を知る。
- ◎ 原爆投下……人類初の核兵器被害とはどれほど悲惨なことだったのだろうか。
- ◎ アジアの人々に日本は何をしてきたのか……戦争の被害だけでなく、「加害」の側面を知る。
- ◎ ナチスの強制収容所とはどんなところだったのか。
- ◎ 平和への提言……「平和」を実現するために何が必要と思われるか、自分なりの意見を戦争展や立命館国際平和ミュージアムの展示を参考に述べる。

経済的分野

課題コースE <経済に関する研究>

身近にある経済事象に興味を持ち、レポートをまとめてみよう。そのために、日々の新聞記事やニュース番組での報道に関心を持ち、テーマを探してみよう。新聞記事や文献を参考にしながら、自分の考えや言葉でレポートを作成してください。

例 示

- ◎ オリンピックと経済
- ◎ 労働者の権利
- ◎ ワーキングプアやネットカフェ難民を考える
- ◎ 環境問題と経済
- ◎ あなたにとって働くとは何か??
- ◎ 戦争と経済
- ◎ 格差社会について
- ◎ 消費税とは
- ◎ 財政危機を救え!!
- ◎ 大阪・北浜から読み解く日本の経済

政治的分野

課題コースF <政治に関する研究>

政治、法律に関する分野からのレポートを期待します。自分の興味をもったテーマについてまとめるのがよいでしょう。新聞や新聞の縮刷版などに掲載されている身近な事件から、テーマをさがしてみるのも一つの方法です。特に3年生に限らず、1・2年生も積極的に取り組んでみてはいかがでしょうか。

例 示

- ◎ 憲法改正問題
- ◎ 「沖縄」についての研究—沖縄戦・戦後—
- ◎ 「人権」にかかわる具体的な問題
- ◎ 戦後補償・戦争責任にかかわって
- ◎ 医療制度・年金問題—生存権にかかわって—
- ◎ 環境問題—ダイオキシン汚染・リサイクル—
- ◎ 「子どもの権利条約」—教育にかかわって—など
- ◎ 日本の政治について
- ◎ 裁判について—裁判傍聴など—
- ◎ 戦争と平和について
- ◎ 国連の取り組み—シリア難民問題について—
- ◎ 公共事業を考える
- ◎ 被災地と京都
- ◎ 東日本大震災・熊本地震について
- ◎ 原爆・核兵器廃絶について
- ◎ アメリカ・ヨーロッパの政治について

論文（レポート）の作成にあたって

全学年

1…レポートを書く前の注意

たくさんの本を読んで理解を深める。

社会に関する書物、参考書、先輩の作品（きささげ）など、たくさん読むと、内容だけでなく書き方、調べ方もわかるようになる。

まる写しをしない。

本を読んだり、史・資料をみたり、見聞きした事にも、「なぜ」「どうして」を常に持ち、他の史・資料で確認するなど、科学的な取り組みをする。

研究の目的をたて、すすめる。

何について調べるか、よく考える。自分の考えや疑問などをまとめて、担当の先生に相談し、テーマ（これまでの『きささげ』に掲載の「自由研究・優秀作品紹介」参照。過去の『きささげ』は図書室にあります。）を決める。使用する史・資料を選ぶ。それらを丸写しせず、自分自身でまとめて文章にする。

2…レポートの書き方（一例）

① はじめに（序文・まえがき）

何について、どんなこと・疑問について、どういう目的で、どんな方法で調べたり研究したりすすめるのか、ということを書く。調べることの要点などを書く。

② 目次

③ 本文（本論 研究の中味）

④ おわりに（結論＝まとめ）

本文で書いた研究内容の「まとめ」を書く。

⑤ 感想

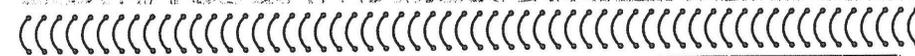
⑥ どんな資料（本など）を用いたか、あるいは引用したかを次の順に書く。

資料名（書名）・ 著者名 ・
発行所名 ・ 発行年……の順
インターネットから引用した場合は
そのアドレスを書く。



このような優れた作品に共通するのは、文献調査でわかったことを丸写しするのではなく、文献を引用しながら、それについて自分の意見が語られていることです。そして、統計資料や現地調査の結果からグラフや主題図を作成したり、現地で撮影した写真などをたくさん用いたりしながら、本文をわかりやすくまとめていることがあげられます。近年の作品にはインターネットの検索だけで文献調査を済ませ、ホームページのアドレスを参考文献に書いている人が目立つようになりましたが、テーマを決めたら、まずは適切な文献を探すことから始めましょう。

実は、小林さんは1年生の時には「朝鮮人街道を行く!」、そして3年生では「北国街道を行く!」というテーマで、3年間かけて近江の街道シリーズの自由研究に取り組みました。こうした研究の積み重ねができるのも自由研究の醍醐味だと思います。



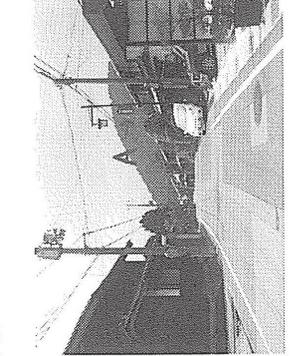
近江突入!! 今須宿



近江街道を辿ると、今須宿に到着する。この宿は、かつては重要な交通の要所であり、多くの旅人がここで休息を求めた。その歴史は、今須宿の町並みや、その周辺の風景に色濃く残っている。

史物語の里

上の風景が、今須宿の歴史を語る。この里には、多くの歴史的事件が起きた。その中でも、今須宿の町並みや、その周辺の風景が、その歴史を色濃く残している。



相原宿の町並

相原宿は、かつては重要な交通の要所であり、多くの旅人がここで休息を求めた。その歴史は、相原宿の町並みや、その周辺の風景に色濃く残っている。

これは、高橋花音さん（2013年度中3）の作品の一部です。「被災地と京都」と題したこの作品は、クリアファイルの見開きのページをうまく用いて、祖父のふるさと気仙沼を中心に、現地調査で撮影した写真と自分のコメント、市役所等で入手したデータとその解説などがうまくまとめられています。2011年3月の東日本震災以降、中1から3年間にわたって被災地をテーマにした社会科の自由研究に取り組んだので、現地調査で撮影した写真等も3年間の比較がなされているのが特徴的です。また、市民、小学生、中学生へのアンケートを京都と気仙沼で行い、意識の比較調査を現地調査の一環として行われ、まとめています。

このような優れた作品に共通するのは、文献で調べたこと、わかったことを丸写しするのではなく、自分の選んだテーマについて基本的な文献、資料を読んで、それについての意見がまとめることが大切です。（インターネットの検索だけで文献調査をすませるはいけません）そして、統計資料や現地調査の結果からグラフや主題図を作成したり、現地で撮影した写真やインタビューの声などを多く用いて、本文をわかりやすくまとめていることがあげられます。高橋さんのように1つのテーマを追って3年間掘り下げていくこともできますし、街道をテーマに毎年別の街道を歩いて調べていくことも可能です。こうした研究の積み重ねができるのも、自由研究の醍醐味だと思います。

1. 東北の今の姿

気仙沼



2011年8月



2012年8月



2013年8月

ガレキに埋もれて1年経たずには、もう1年経つと焼却場が出来るようになっていくのが分かります。海は変わらないのに海の向こう側の街が崩壊していき、動き始めているのを感じられます。

写真の中央に見えるのは焼却炉から上がる水蒸気です。

岩井崎の海の向こう側



2011年8月



2012年8月



2013年8月

高校のグラウンドは、焼却場へと姿を変えていました。約3年前まで多くの生徒が通っていたとは思えない。



このようなガレキの焼却場は市内に4ヶ所あります。焼却場は白い鉄板で囲われており放射線量を測れる機械など有毒な物質が外に出ないように綿密に計測されています。ちなみに焼却場から出ているのが水蒸気です。

高校グラウンドが焼却場に

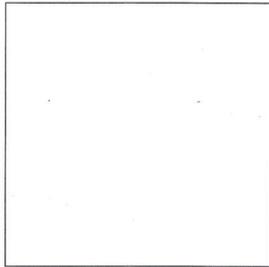
3.被災地と京都

～未来を担っていく世代～

これからの未来を担っていく小中学生に、アンケートを書いて頂きました。被災地（宮城県気仙沼市）と京都の意識の違いを調べました。

小学生アンケート（対象：小学1年生～3年生）

アンケート調べ
 表では調査とごまかして、決して行わない
 表は1ページ、表
 対象：小学1年生～3年生
 Q1. どのような夢を描きましたか？
 1. 学校の先生、2. 宇宙飛行士、3. シェフ、4. パティシエ、5. 学校の先生、6. 医者、7. その他
 Q2. 夢を決めた年齢を教えてください。
 1. 夢を決めた年齢を教えてください、2. 小学校に入ってから

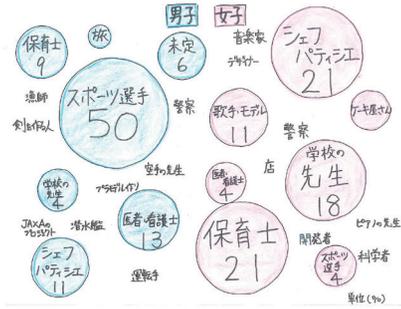


なぜ「将来の夢」を聞こうと思ったのか。将来の夢というのに、小学生や中学生に影響を与えているのではないかと思ったので聞きました。又、夢を決めた年齢を聞いたのは、震災前後どちらかを調べたからだからです。
 なぜ、すきな絵を描いてもらったのか。以前、テレビで震災後の子ども達の心の状態を見るには絵を描いてもらうと出やすいと報道していたのを見たからです。心に傷を負った子ども達は、黒や灰色など暗い色をぐちゃぐちゃに描いてました。小学生は言葉で色々質問するより絵で描いてもらった方が心算が分かりやすいので是非聞か、と考えたので絵を描いてもらいました。

面橋小学校（生徒：102名）、松岩小学校（生徒：92名）



桂坂児童館（児童：175名）



将来の夢、夢を決めた年は小学生アンケートでは、大差がありませんでした。震災に負けず輝かしい夢をいつまでも持ち続けたいと思います。